子ども支援プログラム実施要領

令和6年7月1日適用 練馬区福祉部生活福祉課

1 目的

生活保護受給世帯のうち、家庭環境や学習面等での課題を抱える小・中・高校生および就学・転学等の支援を必要とする未進学・中途退学等の高校年代の子ども(以下「子ども」という。)ならびにその保護者に対し、子ども支援員が家庭訪問等による個別支援、支援拠点における居場所支援・学習支援を行うことにより、支援対象者の状態の改善を図ることを目的とする。

2 概要

担当ケースワーカー(以下「CW」という。)は、子どもの状況や家庭状況を把握し、保護者の同意を得た上で、子ども支援員に支援を依頼する。子ども支援員は、支援対象者の状態の改善に向けた支援を行う。

なお、支援状況については、スーパーバイザーによる助言指導を受けることとし、支援打合せ会議(原則週1回開催)および支援会議(月1回、4所順繰りに開催)を開催する。

3 支援対象者

生活保護受給世帯のつぎの子どもおよびその保護者

- (1) 家庭環境や学習面等での課題を抱える小・中・高校生
- (2) 就学・転学等の支援を必要とする未進学・中途退学等の高校年代の子ども。

4 実施方法

- (1) CWは、在籍校などの関係機関からの連絡や訪問活動などを通して、子どもの家庭 環境や学習面等での課題について状況把握を行う。把握する内容は、「子ども支援プログラム検討票」(様式1)(以下「検討票」という。)のとおり。
- (2) CWは、子ども支援員による支援が必要と判断した場合、保護者に子ども支援プログラムの説明をし、「子ども支援プログラム 同意書」(様式2)(以下「同意書」という。)にて、プログラム参加および福祉事務所、委託事業者と関係機関との間で情報を共有することについての同意を得る。
- (3) CWは、検討票を作成、回付して、支援の実施についての所長決定をとる。
- (4) CWは、各所の次世代育成支援担当係長(以下「担当係長」という。)経由で、検 討票および同意書の写しを子ども支援員に送付することにより、支援を要請する。
- (5) 子ども支援員は、「子ども支援プログラム 支援対象者名簿」(様式3) に支援対象者を登載した上で、CWに連絡をとり、CWからの聞き取り等を基に、「子ども支援プログラム 支援台帳」(様式4) および「子ども支援プログラム アセスメントシート」(様式5) を作成する。

なお、初回の家庭訪問・面談は、原則としてCWが同行・同席する。

(6) 子ども支援員は、支援方針を立て、支援対象者の状態に応じ、下記の支援メニュー を組み合わせて提供することにより、支援を行う。

【支援メニュー】

- ア 家庭訪問等による個別支援
- イ 小・中学生に対する居場所支援
- ウ 高校生・高校年代の子どもに対する居場所支援
- エ 中学生に対する学習支援(中学生勉強会)
- オ 高校生・高校年代の子どもに対する学習支援(高校年代勉強会)
 - ※ 上記イ~オの支援メニューについては、つぎの2か所の支援拠点(居場所) において実施する。
 - アンサンブル大泉 石神井台6-13-2やすらぎガーデン石神井台1階101号
 - アンサンブル光が丘 (練馬区福祉部子ども支援拠点光が丘)光が丘2-7-6-102
 - ※ 上記イ~オの支援メニューに参加するための交通費については、生活保護 法の生活移送費【局第7-2-r-(1)】で支給できる(別冊問答集(問答 7-50-2)参照)。

移送費支給に係る保護申請書(参考1)については、子ども支援員が参加 確認書欄を記入し、保護者に交付する。

- (7) 子ども支援員は、支援経過を「子ども支援プログラム 相談記録票」(様式6)(以下「相談記録票」という。)に記入する。
- (8) 支援会議の開催準備として、担当係長が参加する支援打合せ会議においては、子ども支援員は、「子ども支援プログラム 支援ケース 現状報告一覧」(様式7)を作成し、報告する。子ども支援員および担当係長は、スーパーバイザーを交え、支援状況を確認し、支援会議で検討する支援対象者を選定する。
- (9) 支援会議においては、子ども支援員は「子ども支援プログラム 個別支援シート」 (様式8)を作成し、報告する。子ども支援員、福祉事務所関係職員および関係機関 職員は、スーパーバイザーを交え、これまでの支援状況と今後の支援方針を確認する。
- (10) 子ども支援員は支援会議後、会議開催福祉事務所分の相談記録票の写しを担当係長に送付する。担当係長は相談記録票の写しをCWに渡し、CWはこれを世帯台帳に別綴じして、記録を回付する。
- (11) 子ども支援員は、年度末に「子ども支援プログラム 評価票」(様式9)を作成し、 生活福祉課の本プログラム担当係に提出する。
- (12) つぎの事項に該当する場合、原則として支援を終了する。
 - ア 支援対象者が支援の目的を達成した等の事情により、支援を継続する必要がなく なったとき。
 - イ 支援対象者が保護廃止または保護対象外となったとき。
 - ウ 高校等を卒業したときおよび高校年代の未就学の子どもが 18 歳に達する日以後の 最初の 3月 31 日を迎えるとき。
 - ※ 支援対象者が保護廃止または保護対象外となった場合で、支援対象者が引き続き 区内に居住し、子ども支援員による支援の継続を希望するときは、子ども支援員は生

活福祉課の本プログラム担当係にその旨を報告する。

生活福祉課は、支援継続の必要性が認められる場合は、引き続きの支援を決定する。

5 関係機関との連携

子ども支援員は、子どもおよびその保護者の抱える課題に応じ、在籍校、学校教育支援センター、子ども家庭支援センター、民生・児童委員、主任児童委員、地区担当保健師、精神保健福祉支援員、医療機関、ねりま若者サポートステーション等と連携し、支援を行う。(検討票の裏面参照)

6 本プログラムの実施要領の策定・改定の経過

- (1) 策定 平成21年 3月26日決定 20練福事第4931号 平成21年 4月 1日適用
- (2) 改定 平成22年 4月 1日決定 22練福事第11号 平成22年 4月 1日適用
- (3) 改定 平成23年 3月25日決定 22練福事第5955号 平成23年 4月 1日適用
- (4) 改定 平成24年 4月 2日決定 24練福事第44号 平成24年 4月 1日適用
- (5) 改定 平成26年 6月27日決定 26練福経第20245号 平成26年 4月 1日適用
- (6) 改定 令和 3年 3月10日決定 2練福生第2516号 令和 2年 4月 1日適用
- (7) 改定 令和 5年11月14日決定 5練福生第2107号 令和 5年 6月 1日適用
- (8) 改定 令和 6年 8月24日決定 6練福生第1119号 令和 6年 7月 1日適用

子ども支援プログラム検討票

世帯主氏名			世帯番号				
対象児童		(男・女)	生年月日	年	月	日生(歳)
通学先情報	☆ 在籍校(☆ 担任名(小学)	交/中学校 <i>/</i>	/高校) 特別支援(第 有 ・ 無	学年 [)
登校状況			日程度登校 学校/高校 第	ラ 学年の	頃から約(年った	-月)
学習・生活状況	□ 学習の遅れ □	生活習慣に	課題				
	□ 発達障害 (□ 手帳有【種類:_	知的 ・ 精神	・ 身体	級】			
発達・健康状況	□ 自傷 □ 他書 ☆ 利用中または使用し □ 特になし		5機関 【 が	対課後デイサ	ービス・	デイケア・	作業所
			,				
子どもの希望	□ 居場所で過ごした	勉強	会に参加した				
	□ その他(
	氏名:	続柄:	体調: 良好	· 不良	職業等:		
同居の家族状況	氏名:	続柄:	体調: 良好	・不良	職業等:		
	氏名:	続柄:	体調: 良好	· 不良	職業等:		
保護者の意向							
	□ 学校(SSW)	□ 保健相	目談所 □	子ども家庭	支援センター		
関係機関との相談歴	□ 児童相談所	□ 福祉事	■務所 □	教育相談室	□ 適応	指導教室	
※過去の利用も含めて確認	□ ショートステイ	□ 児童養	護施設 □	子ども発達	 支援センター	-	
	□ 心理治療施設	□ その他	ė (
相談状況							
+D.W. B.=C.B							
担当員所見							
	1	·		打字口	今 和	在 日	П

		起案日	令和	年	日
	□ 子ども支援員による支援を要する	所長	担当係長	保護係長	地区担当員
支援方針	口 子ども支援による支援を要しない				

子ども支援プログラム検討票裏面

関係機関について

☆在籍校(担任教諭·養護教諭·校長·副校長等)

※区内の公立小学校、中学校に設置・配置

特別支援学級(知的障害学級・固定学級/難聴・通級学級/弱視・通級/言語障害ー小学校のみ・通級) 【全校】特別支援教室(情緒障害等)

【全校】スクールカウンセラー、心のふれあい相談員(スクールカウンセラーを補完)

☆練馬区立学校教育支援センター

- 教育相談室(教育相談・いじめの相談)
- ・適応指導教室(不登校児童・生徒の学習支援) 中学生対象教室「トライ」・小学生対象教室「フリーマインド」
- ・居場所ぱれっと(不登校児童・生徒の居場所・学習支援)
- ・スクールソーシャルワーカー いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応
- ・ネリマフレンド 自宅にひきこもりがちな児童・生徒に対し、大学生等の支援を行う派遣相談員を家庭に派遣
- ・「中3勉強会」生活保護受給世帯および就学援助準要保護世帯の子どもが対象

☆練馬区立子ども家庭支援センター

・子どもの虐待がある、疑われる場合は、子ども家庭支援センターと連携して対応

☆練馬区立こども発達支援センター

- •相談事業(発達相談•医療相談)
- •通所訓練事業

☆民生・児童委員、主任児童委員

・地域でのバックアップが必要な場合に連携

☆地区担当保健師(保健相談所)、精神保健福祉支援員(各福祉事務所に2名配置)

・子ども本人や保護者に精神保健的な問題がある場合に連携

以区原饭

・発達上の課題や精神的な疾患がある場合には、担当医や医療ソーシャルワーカー(MSW)と連携

☆進学先

※都立高校に関して

チャレンジスクール 不登校歴のある生徒などを対象とする3部制の定時制高校 エンカレッジスクール これまで力を発揮できなかった生徒のやる気を育て、社会生活を送る上で必要な 基礎的・基本的学力を身に付けることを目的とした全日制高校

ユースソーシャルワーカー 都立高校等と連携し、中途退学の未然防止、不登校生徒への支援等を実施 ※サポート校(通称) 通信制の高校生の学習に対する支援を行う教育施設。法的な位置づけはない施設で、 サポート校と通信制高校の両方の費用が必要

子ども支援プログラム

同 意 書

練馬区〇〇総合福祉事務所長 殿

私は、私の世帯が、子ども支援プログラムに参加するにあたり、以下の点について同意します。

記

本プログラムによる支援に必要な範囲で、私の世帯の情報を、練馬区(総合福祉事務所)および練馬区が支援を委託している団体(特定非営利活動法人 文化学習協同ネットワーク)と下記の関係機関(例示)の間で相互に提供すること。

〔関係機関〕 (例示)

- ・在籍校
- ・学校教育支援センター
- ・子ども家庭支援センター
- ・児童相談センター
- 保健相談所
- 医療機関
- 主任児童委員
- 若者サポートステーション
- その他(

年 月 日

(自署)

)

子ども支援プログラム 支援対象者名簿

1 練馬 2 光がE 3 石神夫 4 大泉 5 一 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	が丘 申井 泉	生年月日				個別のみ 個+学 個+居 全 全	0	0	0	0
3 石神夫 4 大泉 5 一 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	泉					個+居	0	0		
4 大泉 5 一 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	泉					全	0	0		0
5 — 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16							0	0	0	0
6 7 8 9 10 11 12 13 14 15						全		0	0	
7 8 9 10 11 12 13 14 15										
8 9 10 11 12 13 14 15										
9 10 11 12 13 14 15										
10 11 12 13 14 15										
11 12 13 14 15										
12 13 14 15 16										
13 14 15 16										
14 15 16										
15 16										
16										
17										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45					 				_	
46										
47										
48										
49										
50										

子ども支援プログラム 支援台帳

支援開始			年		月	日	世帯	番号				
保護開始			年		月	日	担当福祉	止事務所				
住 所	練馬	区					丁目	番	号			
電話番号									携帯番号			
	対象			氏名			続柄	生年	月日		勤務先∙所	f属·学校等
世帯構成												
			氏	名				関係			連絡先(電	話·FAX)等
親族およ び緊急連												
絡先												
			支援	美年度				学校名		地区担当員	支援員	備考
	小	1			年	月			小学校			
	小	2			年	月			小学校			
	小	3			年	月			小学校			
	小	4			年	月			小学校			
	小	5			年	月			小学校			
支援	小	6			年	月			小学校			
	中	1			年	月			中学校			
	中	2			年	月			中学校			
	中	3			年	月			中学校			
	高	1			年	月			高校			
	高	2			年	月			高校			
	高	3			年	月			高校			
					年	月						

子ども支援プログラム アセスメントシート

No			作成: 年 月	日[担当:
氏名	() 性別:	総合福祉事務所	担当 CW
	年 月	日生 歳	学校 在	
■検討票記載事項	質(本人・保護	者の意向、通学先での	D状況・通学先の意見、CW 所見・支払	受方針など)
■学坛眼核、学场	4-#-1			
■家族関係・家族	代件 /X	\		
	()		適度に親密な関係 仲違い・葛藤関係	
			密着した関係 別離・縁切り・遮断関係	
				-
			M. 图 ()	
■保護申請までの) 経緯			
【主の成育歴、学歴		中心に・・・】		
対の会会に対				_
■親の就労状況 【職歴】				
NAHWIE]				
【現在の就労状況	卍】□有・□無	€/□安定・□不安定	【無の場合の就労意欲】 低	
【理ケッシと類】			V) '	' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' '
【現在の給与額】				
■医療機関/連携	幾関			
		断、心理・発達検査、手続	長の有無等】	
	/ppdes			
本人: 【現在の通院/	/服楽】			
家族:【特記すべき病	『歴・通院歴・診	断、心理・発達検査、手続	長の有無等】	
家族: 【現在の通院/	服薬			
保護受	給後の牛活歴	(本人、家族の様子 収入申	告、登校状況、塾代申請等を記載する)	留意点・支援者所感
~初回訪問調査からの記		The state of the s		

子ども支援プログラム 相談記録票

氏名: (ふりがな) 男 or 女

生年月日: 年 月 日(歳 年 月 日現在)

所属/学校:

福祉事務所:総合福祉事務所地区担当 CW:CW (保護 係)

子ども支援員:

備考:

【関係機関】

年 月 日()

子ども支援プログラム 支援ケース 現状報告一覧

保護 係:支援ケース(○ケース)

○○ ○○:○歳(○○高校1年)担当CW:○○CW【子ども支援員:○○】

保護 係:支援ケース(〇ケース)

○○ ○○:○歳(○○高校・定時制3年)担当CW:○○CW【子ども支援員:○○】

○○ ○○:○歳(○○中学校2年) 担当 CW:○○CW 【子ども支援員:○○】

新規ケース

保護 係:支援ケース(○ケース)

○○ ○○:○歳(○○中学校3年) 担当 CW:○○CW 【子ども支援員:○○】

支援会議ケース候補案

毎回支援シート

個別支援シ	<u>/</u>	,							WO	:	C\	W:	CM	1	担当	YW:										年	月日
氏名							年曹	冷	歳/	FOO	高校	年生	/				保	護開始 4	年月	B		支援開	始	年	月	日	
前回の問題(年	月)		•						現在の	の課題	<u>(</u>	年	月)					支援方針(年	月)				
		発達隊	章がい	•病歴•	·手帳(の有無	ŧ							連	携機	関(接続	売してに	いるところに〇	をつける	る)				家族	図		
本人											内	部	資				夕			資 源							
										ケ			ー カ		学			校	子ど	も家庭支援センタ	ター		7				
										母			談				指導		児	童 相 談	所			Τ		-()
 家族										_			福祉	_	教	育	相	談室	保井老	健	所 - >						
<u> </u>										就	労	相	談	員	民		塾	委 員	月	サポートステーシ 童	館						
															病			院	そ	<u> </u>	他			'			
							登校	状況						用口	り感	進路	意識			保育園、幼稚園	ā				_		
		-		1	ı	I		· • · · · · ·	ı	1		I I			, 												
登校状況		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	親	子	親	子	仲間形成		小学校							
豆钗ひ儿																		计间加列及		中学校							
																				いじめ(られ)経	験						
	評価	1						台帳	 (成育	歴参照	祭)記載	战事項	や初回	訪問	 等、支	援開如	台時の	 状況	1		 支援内容・ア	プローチ・	兼子の 変	と化なと			
			愛着形	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /																							
家族関係			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	成																							
78 - 18 - 18 - 17 - 17 - 17 - 17 - 17 -			子間σ																								
		121	食事																1								
其太的生活						_																					
基本的生活 •生活習慣			生活時	寺間																							
			衛生	Ė																							
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3																	
学習状況			\vdash																								

[様式9 - 1]

小・中学生用 子ども支援プログラム 評価票

J C O X IX TI III III III III III III III III										~						41.4								1	土会的な調	まわり・社!	会資源が広	がった				1								
																		係性の鎌 善			内相談室) 含	む登校状	況の変化	本人の社 の改者		学、途学	、就職等の選	路状況	E:	勝所内の つながった	資源 :			福祉事	務所外の資	関源につなが	った			ĺ
\setminus		2		所属	子			不登校	支援開:				支援実施回			アンサンプ 支援実施回		保護者との	学校と家	が登りたる。	登 登校	週 (5	登坎	*	高校進学		支援機	未進学の記	心 多福 安祖 なま	精神保		適応指	\$20 pt	7 1 1		児童ディ	病院・	子ども	主任児童	備考
地域	名前	保護年齢)	生 年 月 日		」ども支援員	支援開始	支援終了	· 在籍無期間	又援開始時点の学力レ	支援顯型	訪問回数	電話相談	月 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	関係機関と情報の数は、ケース会議	訪問 回数	電話相談回数	ボール できた 共有 (電話連 共有 (電話連	との継続的関係が きた きた	ができた。	がひきこもり状態は改善 登校は再開されなかった (週 0 → 週?)	月0→月?) が再開された 日数が増えた	(週5→週5) 週5登校を継続した	登校頻度の変化	学力の向上	生活習慣の改善、進学した(中3)	: H	支援機関とつながった	進学だが就職また就労	心身障害児の適正就学への要な手続きをできるようになった	精神保健福祉支援員	就労サポーター	5・つむぎ ぶれっ	教育相談室	・ sa átrice スペース フリール・フリー	学習塾館	デイ・療育支援センクリニック等	ハウンセリング・ SSW	(児童相談所) 保健師保健師	主任児童委員・民生委員	(支援拒否等)
1								通算 年 か月	1	個別のみ																														Ì
2								通算 年 か月	=	個+学																														
3								通算年 か月	×	個+居																														
4								通算年 か月	1	全																														
5								通算年 か月	1																															
6								通算年 かり	1																															
7								通算年 か月	1																															
8								通算 年 か月	=																															
9								通算年 か月	=																															
10								通算年 か月	_																															
11								通算年 か月	1																															
12								通算 年 か月	=																															
13								通算 年 か月	=																															
14								通算年 か月	1																															
15								通算年 か月	1																															
16								通算年 か月	1																															
17								通算年 か月	1																															
18								通算年 かり	1																															
19								通算年 か月	-																															
20		$\dagger \dagger$						通算年 か月	-																															

[樣式9 - 2]

高校生用 子ども支援プログラム 評価票

		土州		, –		坂ノロ	,,		ят іш	1205											- A						+104													社会的な	関わり・を	会資源が	広がった				
																					の維持・改善			装室)合む	登校状況の	変化	本人の状の改善	ì			就学、連門	人 就職等の	連路、就労の			福祉	御務所内 こつなが	内の資源 った				事務所外 の					
\setminus			(8			所属	7			不豐校、	支援開始				支援実施回数			風のアンサ 固別支援実		保護者と	本人との	からな きょう	(a)	世 登 校	過 5 3	3 146	9	進級	高校を転	高的	大学		高卒認	ター等の	支就 接分 A移	アルグ要な	福祉精神	1.22	***	7 11 1	ン・ハロ 若者サザ		児童ディク	男徒	子ども	主任児童	備考
1 1	也或	名前	保護年齢)	生年月日	学年	(在籍校)	子ども支援員	支援開始	支援終了	· 在籍無期間	対時点の学力レ	支援類型	訪園談園数数数	電調報報	有(電話連絡) 同行支援 同行支援 同様関と情報共	議・ケー ス会議回数	訪問回数	来所回数	看(電話連絡) 関係機関と情報共	できた	本人との継続的関係がで 本人との継続的関係がで きた	4種の産売り収集は改善された	201日 河の1日 河の1日 河の1日 河の1日 河の1日 河の1日 河の1日 河の	登交が再明された	「週51」 週5 → 1 回 5 → 1 回 5 → 1 回 5 → 1 回 5 → 1 回 5 → 1	E D	力の向上	・単位取得した	学を支援した	仅を卒業した	就職した	進学先	高卒認定試験を受けた	ター等の職能校に通うこ職業能力開発支援セン	支援A型/B型に通うことになった とになった	Tトを始めた・再 ではなった	福祉事務所に行き相談や精神保健福祉支援員	カサポーター	教育相談室	スペース・フリース支援施設	リーワーク等の就	児童館	ター等 リニック等	Y S W	(児童相談所) 子ども家庭支援センター	任児童委員・民生委員	(支援拒否等)
1										通算 年 か月	ı fi	別のみ																																			
2										通算 年 か月	TE TE	目+学																																			
3										通算 年 か月	× fi	目+居																																			
4										通算 年 か月	4	È																																			
5										通算 年 か月																																					
6										通算 年 か月	ı																																				
7										通算 年 か月																																					
8										通算 年 か月	ı																																				
9										通算 年 か月																																					
10										通算 年 か月	ı																																				
11										通算 年 か月	ı																																				
12										通算 年 か月																																					
13										通算 年 か月	ı																																				
14										通算 年 か月																																					
15										通算 年 か月																																					
16										通算 年 か月																																					
17										通算 年 か月							L																														
18										通算 年 か月																																					
19										通算 年 か月																																					
20										通算 年 か月																																					

[樣式9-3]

高校非在籍者用 子ども支援プログラム 評価票

100000	I IMW	Γ		社会的な関わり・社会資源が広がった
			関係性の維持・改 競学、強学、就職等の進展、就労の状況	福祉事務所内の資源 につながった 福祉事務所外の資源につながった
保生なな様と支	支援開始は、支援開始は、	個別訪問支援実施回数 風のアンサンブル 個別支援実施回数	保 本 学 ひ 高 高 大	必福 月 フン若 児 病病 子 主任 任 会 年 中 ・<
・	支援終了を援験型を接続の学力レースがある。	前面 電話 関係機関と 情報 共有(電話と) 大き 電話 相談 一	保護者との難続的関係ができた。 本人との提続的関係ができたができたができたができたができたができたができたができたができたができた	本語
1	通算 年 か月			
2	通算 年 か月 個+学			
3	通算 年 か月 × 個+居			
4	通算 年 か月			
5	通算 年 か月			
6	通算 年 か月			
7	通算 年 か月			
8	通算 年 か月			
9	通算 年 か月			
10	通算年 か月			
11	通算 年 か月			
12	通算 年 か月			
13	通算 年 か月			
14	通算 年 か月			
15	通算 年 か月			
16	通算年 か月			
17	通算 年 か月			
18	通算 年 か月			
19	通算年 か月			
20	通算 年 か月			

*保護者	£≣⊒]\		保	言	Ē E	=	請	書				
練馬区	,		総合福祉	业事務別	折長 殿	ī. Ž						
申請	者住所		練馬区			町		丁目	<u>-</u>	番	물	
	氏名 電話											
	4500	•					本人と	の関係				
	おり生! 	活保護	法による	る移送費	養を申請	もします	•					\neg
経費と												
経路内訳									計		円	
* 子 ど	も支援	員記入			j	氏名:						
	子	= تے	き支:	接フ	ፆ□:	グラ	人人	参力0	確認	忍書		
					年	Ē		月分				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		_
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	合計E]数		<u> </u>								
上記の 認します		、子ど	も支援	プログ	5 Д(居場列	б •	勉強会	() [参加し	たこと	を確
								年	月	В		
				確認	図者氏名				(ED))		
				電影	音番号	:						

練馬区_____総合福祉事務所長 殿